

(資料4)

1 最高裁昭和23年3月12日大法廷判決・刑集2巻3号191頁

実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
現代國家は一般に、統治権の一連の関係において、死刑制度は窺い知られる	現代國家は一般に統治権の一連の関係において、死刑制度は窺い知られる	現代國家は一般に、統治権の一連の関係において死刑制度は窺い知られる	現代國家は一般に、統治権の一連の関係において死刑制度は窺い知られる
辯護人の主張するように、果して同時に同條においては、公共の福祉に反しない限りという厳格な枠をはめているから、もし公共の福祉という	辯護人の主張するように果して同時に同條においては、公共の福祉に反しない限りという厳格な枠をはめているから、もし公共の福祉という	辯護人の主張するように、果して同時に同條においては、公共の福祉に反しない限りという厳格な枠をはめているから、もし公共の福祉という	辯護人の主張するように、果して同時に同條においては、公共の福祉に反しない限りという厳格な枠をはめているから、もし公共の福祉という
すなわち憲法は、現代母や妹カ	すなわち憲法は現代母や妹カ	すなわち憲法は、現代母や妹カ	すなわち憲法は、現代母や妹カ
被告人カ真面目ニ働カス	被告人カ真面目ニ働カズ	被告人カ真面目ニ働カス	被告人カ真面目ニ働カス
被告人ニアルコトデ	被告人ニアルコトデ	被告人ニアルコトデ	被告人ニアルコトデ
答ヘストノ記載	答ヘストノ記載	答ヘストノ記載	答ヘストノ記載
検事はその論旨	検事はその論旨	検事はその論旨	検事はその論旨
非ズヤトノ懸念ヲ生ゼシムル	非ズヤトノ懸念ヲ生ゼシムル	非ズヤトノ懸念ヲ生ゼシムル	非ズヤトノ懸念ヲ生ゼシムル
鑑定人の鑑定に附すか	鑑定人の鑑定に附すか	鑑定人の鑑定に附すか	鑑定人の鑑定に附すか
阻却すべき理由たる	阻却すべき事由たる	阻却すべき理由たる	阻却すべき理由たる
第四百四十六條により主文の	第四百四十六條により主文の	第四百四十六條より、主文の	第四百四十六條により、主文の
なお、上告趣意	なお、上告趣意	なお、上告趣意	なお、上告趣意
しかし憲法は、その	しかし憲法は、その	しかし、憲法は、その	しかし、憲法は、その
免かれない	免かれない	免かれない	免かれない
ちがつて来る、例へば	ちがつて来る。例へば	ちがつて来る、例へば	ちがつて来る、例へば
奪つてしまうものだから	奪つてしまうものだから	奪つてしまうものだから	奪つてしまうものだから
使う人もある。(仮りに	使う人もある。(仮りに	使う人もある。(仮りに	使う人もある。(仮りに
云えば、そうも云えるであろう(仮りに	云えば、そうも云えるであろう(仮りに	云えば、そうも云えるであろう(仮りに	云えば、そうも云えるであろう(仮りに
きりが無い、	きりが無い、	きりが無い、	きりが無い、
云うことである。(我々の	云うことである。(我々の	云うことである(我々の	云うことである(我々の
重要である私は	重要である私は	重要である私は	重要である私は
求めなければならないと思う、そこで	求めなければならないと思う、そこで	求めなければならないと思う、そこで	求めなければならないと思う、そこで
公共の福祉に反しない限り、立法	公共の福祉に反しない限り立法	公共の福祉に反しない限り、立法	公共の福祉に反しない限り、立法
規定して居る、	規定して居る、	規定して居る、	規定して居る、
見なければならぬ、	見なければならぬ、	見なければならぬ、	見なければならぬ、
妥当である、(即ち	妥当である。(即ち	妥当である(即ち	妥当である、(即ち
居るのだと説く、	居るのだと説く、	居るのだと説く、	居るのだと説く、
外思えない、	外思えない、	外思えない、	外思えない、
奪はれ得ないことになるから	奪はれ得ないことになるから	奪はれ得ないことになるから	奪はれ得ないことになるから
ある、蓋同條に	ある。蓋同條に	ある、蓋同條に	ある、蓋同條に
形式的理論解釈である、	形式的理論解釈である、	形式的理論解釈である、	形式的理論解釈である、
推察する、	推察する、	推察する、	推察する、
思はない、	思はない、	思はない、	思はない、
勿論だから若し	勿論だから、若し	勿論だから若し	勿論だから若し
選択しないであろう、	選択しないであろう、	選択しないであろう、	選択しないであろう、

(追加)	加入(濁点)	立法その他の國政の上で最大	立法その他の國政の上(濁点のみあり)最大	立法その他の國政の上で最大
(一部※)	加入(ボツ)	(裁判長)「……」	(裁判長)「……」	(裁判長)「……」
	脱字(読点)	したがって、國家	したがって國家	したがって、國家
	脱字(読点)	ないからである、他に	ないからである 他に	ないからである、他に
	脱字(フリーズ)異体字	檢察官橋本乾三関與 ←「察」は「𠄎」	(なし)	檢察官橋本乾三関与
	脱字(フリーズ)誤字	署名捺印することができない。	(なし)	署名捺印することができない。
	異体字誤字(濁点)	第一点は	第一點は	第一点は

※なお、500箇所を超える異体字がある。

2 最高裁昭和30年4月6日大法院判決・刑集9巻4号663頁

	実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
	所論の摘示する検事の聴取書 被告人が判示の時刻頃に	所論の摘示する聴取書 被告人が判示の時刻頃に	所論の摘示する検事の聴取書 被告人が判示の時刻頃に	所論の摘示する検事の聴取書 被告人が判示の時刻頃に
	刑罰としての死刑は、その執行 方法が	刑罰としての死刑は、執行方法 が	刑罰としての死刑は、その執行方 法が	刑罰としての死刑は、その執行 方法が
	弁護人選任の告知をしなかつた こと	弁護人の選任を告知しなかつた こと	弁護人の選任を告知をしなかつた こと	弁護人の選任を告知をしなかつた こと
	立ち合わせなくても	立ち合わせなくても	立ち合わせなくても	立ち合わせなくても

(追加)

異体字	検事	検事	検事	検事
誤字	以下帝銀事件という。	以下帝録事件という。	以下帝銀事件という。	以下C事件という。
異体字	記録	記録	記録	記録
異体字	小樽市	小樽市	小樽市	小樽市
異体字	護送←「送」は「ハ」のような	護送	護送	護送
誤字	調べたから	調べたから	調べたから	調べたから
異体字	鑑定人内村祐之	鑑定人内村祐之	鑑定人内村祐之	鑑定人J
異体字	摘録	摘録	摘録	摘録
異体字	経過←「過」は「ミ」	経過	経過	経過
異体字	遺留←「遺」は「ミ」	遺留	遺留	遺留
異体字	押収	押収 ←「収」はLがIに突き抜ける。	押収	押収
異体字	総合	総合	総合	<修正済み> 総合
異体字	警視庁	警視庁	警視庁	警視庁
異体字	関連←「連」は「ミ」	関連	関連	関連
異体字	脅迫	脅迫	脅迫	脅迫
異体字	事実誤認	事実誤認←「認は「刌」の左部 分	事実誤認	事実誤認

6 最高裁昭和37年11月28日大法廷判決・刑集16卷11号1593頁

	実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
	没収	没収	没収	没収
	収益	収益	収益	収益
	二九条に違反するものである <u>とい</u> <u>うのであるが,</u>	二九条に違反するものである が,	二九条に違反するものである <u>とい</u> <u>うのであるが,</u>	二九条に違反するものである <u>とい</u> <u>うのであるが,</u>
	審問	審問	審問	審問
	防禦をなすことを得せしめる	防禦をなすことを得せしめる	防禦をなすことを得せしめる	防禦をなすこと得せしめる
	被告人としても	被告人としても	被告__としても	被告__としても
	具体的、必然的關係	具体的、必然的關係	具体的、必然的關係	具体的必然的關係
	(第三者からの所有物	(第三者から所有物	(第三者からの所有物	(第三者からの所有物
	その物は国庫	その物は国庫	その物は国庫	その物国庫
	已むを得ない	已むを得ない	已むを得ない	已むを得ない
	執行を実行	執行を実行	執行を実行	執を実行
	検察官	検察官	検察官	検察官
	奥野健一	奥野健一	奥野健一	奥野健一

(追加)

変更(改行)	考える。(改行なし)	考える。(改行なし)		考える。(改行)
脱字	防禦をなすことを得せしめる	防禦をなすこと得せしめる	防禦をなすことを得せしめる	防禦をなすこと得せしめる
脱字	多数意見に賛成	多数意見に賛成	多数意見に賛成	多数意見に賛成
脱字	被告人であると,	被告人であると,	被告人であると,	被告人である,
異体字	翻つて	翻つて	翻つて	翻つて
脱字	行動するためには	行動するために	行動するためには	行動するためには
脱字	判決により	判決により	判決により	判決より
脱字(フリーズ)	占有権、使用権を	占有権を	占有権、使用権を	占有権、使用権を
異体字	裁判官齋藤	裁判官齋藤	裁判官齋藤	裁判官齋藤

8 最高裁昭和48年4月4日大法院判決・刑集27巻3号265頁

	実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
	明らかなところ	明らかなところ	明らかなところ	明らかなところ
	個人の尊厳の自覚のもとに	個人の尊厳のもとに	個人の尊厳の自覚のもとに	個人の尊厳の自覚のもとに
	重視されたいわゆる	重視されたいわゆる	重視されたといわゆる	重視されたといわゆる
	狙いなのである。したがって、 <u>裁判所</u>	狙いなのである。したがって裁判所	狙いなのである。したがって、 <u>裁判所</u>	狙いなのである。したがって、 <u>裁判所</u>
	加えられたが、 <u>刑法</u>	加えられたが刑法	加えられたが、 <u>刑法</u>	加えられたが、 <u>刑法</u>
	強化しようとする法律	強化しようとする法律	強化しようとする法律	強化しようとする法律
	斟酌	斟酌	斟酌	斟酌
	遙かに	遙かに	遙かに	遙かに
	社会生活上の基本的道義	社会生活の基本的道義	社会生活上の基本的道義	社会生活上の基本的道義
	のみならず	のみならず	のみならず	のみならず
	改正したもので	改正したもので	改正したもので	改正したもので
	違憲と断ずる	違憲と断ずる	違憲と <u>ずる</u>	違憲と <u>ずる</u>

(追加)

誤字	そのこと	このこと	このこと	このこと
誤字	尊重	尊属	尊属	尊属
脱字	自然法的道徳	自然法道徳	自然法道徳	自然法道徳
脱字	のみを主張	のみ主張	のみ主張	のみ主張
誤字	儒教	儒教	儒教	儒教
脱字(読点)	五、	五	五	五
脱字(読点)	六、	六	六	六
異体字	淵源	渊源	渊源	渊源
脱字	(四)なお、	(四)なお、	(四)なお、	四 なお、
脱字(フレーズ)	検察官・・・・・・公判出席	(なし)	検察官・・・・・・公判出席	検察官・・・・・・公判出席
脱字(フレーズ)	署名押印することができない。	(なし)	署名押印することができない。	署名押印することができない。

9 最高裁昭和50年4月30日大法廷判決・民集29巻4号572頁

	実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
	生じうる	生じうる	生じうる	生じうる
	果たしうる	果たしうる	果たしうる	果たしうる

(追加)

脱字	決定すべきもの	決定すべきの	決定すべきの	<修正済み> 決定すべきの
異体字		裁判官名の字体		裁判官名の字体

10 最高裁昭和51年4月14日大法廷判決・民集30巻3号223頁

	実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
	したがつて選挙区に	したがつて選挙区に	したがつて選挙区に	したがつて選挙区に
	本件選挙を無効とすべきではない	本件選挙を無効とすべきでない	本件選挙を無効とすべきではない	本件選挙を無効とすべきではない
	民訴法	民訴法	民訴法	民議法
	を採つて	を採つて	を採つて	を採つて

(追加)

誤字	論法	論理	論理	<修正済み> 論理
異体字		裁判官名の字体		裁判官名の字体
誤字	目的及び裁判所	目的及び裁判所	目的及び裁判所	目的及び裁判所

※裁判集の全部チェック未了

11 最高裁昭和51年5月21日大法廷判決・刑集30巻5号615頁

	実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
	解釈態度という	解釈という	解釈態度という	解釈態度という
	認められる限り	認められない限り	認められる限り	認められる限り
	論理的には、教育行政機関	論理的には、教育行政機関	論理的には、教育行政機関	論理的には、教育行政機関
	調査目的のために必要と認める	調査目的のためと認める	調査目的のために必要と認める	調査目的のために必要と認める
	教育に対する強い影響力	教育に対する強い影響力	教育に対する強い影響力	教育に対する強い影響力
	非常識じやないか	非常識じやないか	非常識じやないか	非常識じやないか
	認められる。	認められる。	認められる。	認められる。
	公務執行妨害	公務執行妨害	公務執行妨害	公務執行妨害

(追加)

誤字	教育活動の一部	教育活動と一部		教育活動と一部
異体字	手筈← 「こぶし」について「ハ」	手筈← 「こぶし」について「ハ」		手筈
脱字	被告人	被告人		被告人
脱字(フレーズ)	検察官・・・・・・公判出席	(なし)		検察官・・・・・・公判出席
脱字(フレーズ)	署名押印することができない。	(なし)		署名押印することができない。
脱字	(別紙) ・・・・・・以上	(別紙) ・・・・・・(「以上」なし)		(別紙) ・・・・・・(「以上」なし)
異体字		裁判官名の字体		裁判官名の字体

12. 最高裁昭和60年7月17日大法廷判決・民集39巻5号1100頁

	実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
	応社	応待	応社	応社

(追加)

異体字		裁判官名の字体		裁判官名の字体
-----	--	---------	--	---------

13 最高裁昭和62年4月22日大法廷判決・民集41巻3号408頁

	実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
	トラック	トラック	トラック	トラック
	民事訴訟上の	民事訴訟上の	民事訴訟法上の	民事訴訟法上の
	虞なし	虞なし	虞なし	虞なし
	それ以外の	それ以外の	その以外の	その以外の
	常に採る	常に採る	常に採る	常に採る

(追加)

異体字	上告代理人藤本猛	上告代理人藤本猛	上告代理人藤本猛	上告代理人藤本猛
変更(括弧の位置)	当然のことであるとされる	当然のことであるとされる	当然のことであるとされる	当然のことであるとされる
異体字	剝奪	剝奪	剝奪	剝奪
異体字		裁判官名の字体		裁判官名の字体

14 最高裁平成9年4月2日大法廷判決・民集51巻4号1673頁

実際の判決書	判例集	裁判集	ウェブサイト
西山司朗	西山司朗	西山司朗	西山司朗
東京事務所長の職にあった	東京事務所長の職にあった	東京事務所長の職にあった	東京事務所長の職にあった
保障するものではなく、国家と	保障するものではなく、国家と	保障するものではなく、国家と	保障するものではなく、国家と
限界があることを免れず	限界があることを免れず	限界があることを免れず	限界があることを免れず
持たざるを得ない	持たざるを得ない	持たざるを得ない	持たざるを得ない
本件玉串料等を靖國神社	本件玉串料等を靖國神社	本件玉串料等を靖國神社	本件玉串料等をD神社
第一審判決	第二審判決	第一審判決	第二審判決
宗教的意義	宗教的意義	宗教的意義	宗教的意義
覚えるかもしれないが、神道と	覚えるかもしれないが、神道と	覚えるかもしれないが、神道と	覚えるかもしれないが神道と
本件における公金	本件における公金	本件における公金	本件における公金
その点はさておき	その点はさておき	その点はさておき	その点はさておき
二〇条三項にいう宗教的活動	二〇条三項にいう宗教的活動	二〇条三項にいう宗教的活動	二〇条三項にいき宗教的活動
右大法廷判決は、	右大法廷判決は、	右大法廷判決は、	右大法廷判決は、
…	…	…	…
出捐行為	出捐行為	出捐行為	出捐行為
宗教的意識の有無	宗教的意識の有無	宗教的意識の有無	宗教的意識の有無
意識していること	意識していること	意識していること	意識していること
金員の供与	金員の供与	金員の供与	金員供与が
平和を祈求し	平和を祈求し	平和を祈求し	平和を祈求し
合祀されていること	合祀されていること	合祀されていること	合祀されていること
平安堅固、工事の無事	平安堅固、工事の無事	平安堅固、工事の無事	平安堅固工事の無事
到底いうことができず、	到底いうことができず、	到底いうことができず、	到底いうことができず、
百万単位	百万単位	百万単位	百五単位
明治政府によって	明治政府によって	明治政府によって	明治政府によって

(追加)

異体字	「疋」	「疋」の一画目が長い (例：判例集p. 1677, 10行目)	「疋」
誤字(括弧)	①, ②, ③, ④	①, ②, ③, ④	「1」, 「2」, 「3」, 「4」
異体字	辿る	辿る	辿る←「𠂔」でない
異体字		裁判官名の字体	裁判官名の字体

		件数				具体例	
		判例集	ウェブ	小計	合計	(正)	(誤)
加入	濁点	1		1		立法その他の國政の上で最大	立法その他の國政の上(濁点のみあり)最大
	ポツ	1	0	1	2	(裁判長)「……」	(裁判長)「……」
脱字	フレーズ	7		7		署名押印することができない。	(なし)
	読点	4	2	6		したがって、 <u>國家</u>	したがって國家
	その他	6	10	16	29	防禦をなすことを得せしめる	防禦をなすこと得せしめる
変更	改行		1	1		考える。 <u>(改行なし)</u>	考える。 <u>(改行)</u>
	異体字	25	24	49		検事	検事
	括弧の位置変更		1	1	51	当然のことである」とされる	当然のことである」とされる
誤字	濁音	1		1		第一点は	第一點ば
	その他	7	5	12	13	以下帝銀事件という。	以下帝録事件という。
合計		52	43	95			

(※)

凡例

■	判例集にのみ見られる類型
■	ウェブにのみ見られる類型
■	いずれにも見られる類型

※このほか、昭和23年判決においては、合計500箇所を超える異体字がある。